

国 語 問 題

注 意 事 項

- 1. 試験開始の指示があるまで問題冊子を開いてはいけません。
- 2. この問題冊子は 25 ページです。落丁、乱丁、印刷不鮮明などの箇所がある場合には申し出てください。
- 3. 問題冊子および国語解答用紙（マークシート）と国語記述解答用紙が配布された後、各解答用紙の所定欄に座席番号・氏名・フリガナを正確に記入し、国語解答用紙（マークシート）の座席番号欄には座席番号を正しくマークしてください。
- 4. 解答は必ず国語解答用紙（マークシート）の指定された箇所に正しくマークし、記述式問題の解答は国語記述解答用紙に記述してください。マーク箇所を誤った解答は無効です。
- 5. マーク解答欄記入上の注意

- (1) 解答は指定された解答欄にマークし、その他の部分には何も書かないでください。例えば、

20

 と表示のある問いに対して、③と解答する場合には、次の例のように**解答番号 20**の**解答欄**の③にマークしてください。

例

良い例	悪い例

解答 番号	解					答					欄				
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
20															

- (2) 複数の解答がある場合も、同じ解答欄にマークしてください。ただし、指示された解答数より多くマークした場合は、その解答はすべて不正解となります。
- (3) 解答用紙へのマークはすべて H B のシャープペンシルまたは鉛筆で行い、訂正する場合にはプラスチック製消しゴムで丁寧によく消し、消しくずはきれいに取除いてください。
- (4) 解答用紙は絶対に汚さないでください。また折り曲げたり破ったりしないでください。
- (5) 解答欄の所定欄以外の余白部分は、何も記入しないでください。記入したり、汚したりすると解答用紙読み取り時の誤読の原因となり、採点できない場合があります。
- 6. 国語記述解答用紙については、注意事項をよく読み、指定された設問について解答しなさい。
- 7. 試験時間中に退場することはできません。
- 8. 問題冊子は必ず持ち帰ってください。
- 9. 解答用紙は持ち帰ってはいけません。

I 次の文章を読んで、後の設問に答えなさい。

一九八〇年代の半ばごろでしょうか。ある日、アメリカの新聞の一面に、大きな見出しで、日本の教育がどんなにすぐれているのかを知らせる記事がのっていました。当時アメリカに留学していた私は、アメリカ人の友だちや大学の先生から、日本の教育はどうなっているのかと、よく質問されたりもしました。

日本では受験をめざして子どもたちがさかんに勉強する。そのころは毎週土曜日も学校に行くので一年間に受ける授業時間数も多かった。学校の先生たちの給料も高いことから、すぐれた先生が多く、生徒からもソ^(ア)ンケイされている、などなど、いろいろなことに目が向けられました。その中でも注目を集めたのは、日本の学校ではどこでも同じ内容が教えられている、というカリキュラム——より正確に言えば、国が定めたナショナル・カリキュラムでした。

どの地域に住んでいても、何年生までにはどこまでの知識を学習しなければならないかが、全国一律に決められている。しかも、教えている知識のレベル自体がとても高い、ということが、日本の教育がすぐれている理由の一つとして着目されたのです。

どの地域のどの学校に通おうと、同じ学年なら同じような内容の知識が教えられる。国という大きな範囲で学校で教える知識の内容を細かく決めていれば、たしかに、生徒たちの学力の **A** は小さくなるでしょう。ある学校では教えているのに、別の学校では教えていないといったことが起こらないからです。

長い間ナショナル・カリキュラムをもった日本のなら、こんなことはあたりまえのことと、とくに不思議ではありませんでした。ところが、たとえばイギリスでは、一九八八年以前は、学校で教える知識は、それぞれの地域や学校が決めていました。その結果、地域や学校ごとに、生徒の学力に大きなカクサが生じていて、学力の **A** がとても大きいことが問題とされていました。

1、工場などで人を雇うとき、高校を卒業した人ならだれでも、どの程度の知識を共通にもっているのか、その **A** が小さければ効率的です。仕事をするうえで、改めてどんなことを覚えてもらうのかを決めるときに、だれにでも同じような内容を教えればよいというのであれば、それだけ効率的です。反対に、それぞれがばらばらの知識しかもっていないければ、ひとりひとりに違ったことを教え直さなければならなくなるでしょう。つまり、働く人びとの能力が高く、質がそろっていれば、それだけ工場などでは効率よく仕事ができると考えられたのです。

イギリスでは日本などを見習いながら、ナショナル・カリキュラムをつくろうということになりました。競争力を失いつつあるイギリスの産業界を建て直すためには、各学校の自由にまかせて教育を行っていたのでは効率的ではない。世界の経済競争に追いついていくためには、どの学校でも国のレベルで決めた知識を教えるようにしなければならない。そういう考えから一九八八年以後、ナショナル・カリキュラムが導入されることになったのです。それは、自由の国、イギリスの伝統からすれば画期的なできごとでした。

2 最近の日本では、⁽¹⁾こういった効率重視のやり方に、批判がはじめていることもたしかです。「画一教育」といった言葉を聞いたことがありますか。教える内容を画一的に決めることが、子どもたちの個性や創造性を育てるうえでマイナスになっている。もっと、生徒に学ぶ自由を与えたほうがよいとか、先生たちにも教えるうえでの創意工夫の余地を増やしたほうがよい、といった議論が行われるようになっていきます。文部科学省の教育改革案にも、画一的教育を減らしていこうという考えが含まれています。学校で教える内容にもっと選択の幅をもたせようということです。

こうした最近の日本の動きは、イギリスとは B ⁽²⁾の方向を向いているように見えます。イギリスがもっと画一的教育にしようという方向に踏み出したのに対し、日本はそれとは B の方向に向かおうとしているからです。

3 このような日本の動きにも、世界の他の国々との競争の影響があらわれています。今までのように、たくさんの製品をできるだけ安くつくればよいという時代には、できるだけ同じような能力をもった人びとに働いてもらうことが有利な条件でした。ところが、日本人の給料が他の国と比べて高くなってしまうと、もっと安く人を雇える外国に工場を移す⁽³⁾キギョウが増えました。産業の中心も、モノ作りからコンピュータのソフトをはじめとする情報産業など、アイデア勝負の分野に移ろうとしています。

こういう時代には、いいアイデアを出せる創造力が大切となります。人と違うユニークなアイデアを出せるかどうか。⁽³⁾だれでも同じように教育するというやり方では、こういう新しい時代に追いついていけないのではないかと、という考えが出てきたのです。

あなたは、そういう目で自分の受けている教育を見たことがないかもしれません。勉強しなければならない決まった範囲の「知識」や「真実」や「技術」というものが、学校の外側の、たとえば経済や産業からの影響を受けているとは思えないかもしれません。けれども実際には、どんな知識を学校で教えたらいいかを考え、決めている人たちは、こういう問題にも注意をはらって、学校のカリキュラムを決めているのです。

4 、子どもたちの数学や理科の力が落ちると、日本の技術力も落ちやしないと心配して、数学や理科の授業時間をなるべく減らさない

ようにと主張する専門家がたくさんいます。これからの時代は、コンピュータの使い方を知らなければいい仕事ができない。そう考えている人があるから、学校でも、コンピュータの教育をもっと増やそうということにもなるのです。

こうやって、日本という国がほかの国との競争に負けないようにと考えて、どんな内容の知識を教育にもりこんだらいいのか、議論している専門家がたくさんいるのです。そして、その結果、実際に、こういう意見が取り入れられて、教科書の内容が変わっていったこともあったのです。

このように、学校で何を教えるべきかについては、いろいろな考え方をもった人がいます。日本は資源の少ない国だから、教育を通じて科学や技術に強い人材をヨウセイすべきだ。こう考える人は、数学や理科をもっと教えるべきだと主張するかもしれません。これからの日本はますます国際化する。だから、もっと外国語を教えるべきだという意見の人もいるでしょう。子どもたちがもっと自分の国のことを大切に思うように、日本の歴史や文化のよい面をたくさん教えたほうがよいと考える人もいます。アジアの他の国と仲よくするためには、日本が戦争中に犯したあやまちをきちんと反省できる、そういう教育をしたほうがよいという人もいます。

ところが、学校の授業時間には限りがあります。その中で何をどれだけ教えたらいのか。いろいろな考え方をする人たちの違いをどのように調整していくのか。学校で教える知識をめぐって、いろいろな人の意見をどのように取り入れていくのか。それによって、教科書の中身も違ってくるのです。

（荻谷剛彦『学校って何だろう 教育の社会学入門』より。出題にあたって一部改変した。）

問一 傍線部(ア)・(イ)・(ウ)・(エ)のカタカナは漢字でどう書くか。解答例にならない、それぞれ①～⑩の中から正しい組み合わせとなる漢字を二つ選び、同一解答欄にその番号を両方ともマークしなさい。

(ア) 1

(イ) 2

(ウ) 3

(エ) 4

(解答例) トクテイ

- ① 得
- ② 徳
- ③ 特
- ④ 匿
- ⑤ 督
- ⑥ 帝
- ⑦ 定
- ⑧ 底
- ⑨ 訂
- ⑩ 呈

答え ③ ⑦

(ア) ソンケイ

- ① 孫
- ② 尊
- ③ 損
- ④ 存
- ⑤ 村
- ⑥ 傾
- ⑦ 系
- ⑧ 軽
- ⑨ 敬
- ⑩ 継

(イ) カクサ

- ① 革
- ② 各
- ③ 確
- ④ 覚
- ⑤ 格
- ⑥ 査
- ⑦ 佐
- ⑧ 差
- ⑨ 鎖
- ⑩ 峻

(ウ) キギョウ

- ① 貴
- ② 危
- ③ 奇
- ④ 企
- ⑤ 期
- ⑥ 業
- ⑦ 行
- ⑧ 仰
- ⑨ 暁
- ⑩ 凝

(エ) ヨウセイ

- ① 様
- ② 要
- ③ 養
- ④ 陽
- ⑤ 庸
- ⑥ 生
- ⑦ 成
- ⑧ 正
- ⑨ 製
- ⑩ 政

問二 空欄 A・B に入る語句として、最も適切なものを①～⑤の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

A

- ① まとまり
- ② 偏在
- ③ ありか
- ④ 証明
- ⑤ ばらつき

B

- ① 同一
- ② 無関係
- ③ 類似
- ④ 反対
- ⑤ 独自

A

5

B

6

問三 傍線部(a)・(b)の本文中での意味として、最も適切なものを①～⑤の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

(a)

7

(b)

8

(a) 一律

- ① ずっと同じ調子であること
- ② 意味が一つに確定していること
- ③ どれも同じに扱うこと
- ④ 法律で定められていること
- ⑤ 異なることを同一に見ること

(b) 創意

- ① 新しく考え出すこと
- ② 過去の反省を踏まえた改善
- ③ 全員の意見や意思
- ④ 世の中を大きく変える発明
- ⑤ 変化を加えること

問四 空欄 ① から ④ に入る接続語として、最も適切な組み合わせを①～⑤の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

9

- | | | | | | | | | |
|---|---|-------|---|------|---|------|---|--------|
| ① | 1 | しかし | 2 | さらには | 3 | ところで | 4 | それに対して |
| ② | 1 | したがって | 2 | ところが | 3 | 実は | 4 | そして |
| ③ | 1 | たしかに | 2 | ところが | 3 | 実は | 4 | たとえば |
| ④ | 1 | したがって | 2 | たとえば | 3 | しかし | 4 | また |
| ⑤ | 1 | たしかに | 2 | さらには | 3 | 実は | 4 | たとえば |

問五 傍線部(1)「こういった効率重視のやり方に、批判が始めている」とあるが、批判の内容として適切でないものを、①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

10

- ① 学校で教える内容に、従来以上の選択の幅をもたせた方がよい。
- ② 子どもたちの個性や創造性を育てるためには、教える内容を画一的に決めない方がよい。
- ③ 先生たちに、もっと教える際に裁量権を与えた方がよい。
- ④ 今後、社会で活躍するためには、コンピュータの使い方を知っていた方がよい。

問六 傍線部②「イギリスがもつと画一的な教育にしようという方向に踏み出した」とあるが、その理由として最も適切なものを、①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

11

- ① 働く人びとの能力が高く、質がそろっていれば、工場などでは効率よく仕事ができ、世界の経済競争に追いつくことができると考えられたから
- ② 地域や学校によって学校で教える知識が大きく異なる状態となっていたため、国際的な学力比較の順位が下がったことが問題視されたから
- ③ それまでは、創造性の高い人材を育成して国際的な競争に勝つことを目的に、学校の教育内容を自由にしていたが、その後、安く人を雇える外国で製品を生産する時代になったから
- ④ 自由の国、イギリスの伝統からすると、それまでの教育だけが続けるのではなく、それ以外の教育カリキュラムがあるべきだと考えられるようになったから

問七 傍線部③「だれでも同じように教育するというやり方では、こういう新しい時代に追いついていけないのではないか」とあるが、その理由として適切でないものを、①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

12

- ① 工場でモノをできるだけ安く効率よく作るためには、いいアイデアを出せる創造力を教育で伸ばす必要があるから
- ② 産業の中心がモノ作りから情報産業に移り、人と違うユニークなアイデアを出せる能力を教育で伸ばす必要があるから
- ③ たくさんの製品を安く作ればよいという時代ではなくなり、必ずしも働く人びとの能力の質がそろっている必要がなくなったから
- ④ 工場でモノをできるだけ安く効率よく作るための教育よりも、子どもたちの個性や創造力を育てる必要があるから

問八 本文の内容と一致するものを、次の①～⑥の中から二つ選び、同一解答欄にその番号を両方ともマークしなさい。

13

- ① 産業競争力の高いイギリスを見習って、日本でも各学校の自由にまかせて教育を行っていくべきという批判が出始めている。
- ② 日本のナショナル・カリキュラムはイギリスが見習うほど優れているので、日本の教育を海外へ広めようと議論する専門家がいる。
- ③ 日本の学校で教える「知識」「真実」「技術」などは、一九八〇年代の半ばごろから変わっていないにも関わらず、働く人びとの能力は依然として高く、質もそろっている。
- ④ 日本の学校で何を教えるべきかについては、経済など学校の外側から影響を受けており、いろいろな人の意見が調整され、取り入れられている。
- ⑤ イギリスでは学校で教える知識を各学校で自由に決めていたが、その教育では効率的でなく、世界での競争に追いつけないと考えられるようになった。
- ⑥ 学校の授業時間には限りがあるので、日本もイギリスのようにナショナル・カリキュラムに向かうべきであるという考え方をする人たちがいる。

Ⅱ 次の文章は谷崎潤一郎の「小さな王国」の一節である。経験豊富な小学校教師である貝島が担当するクラスに、沼倉という生徒が転入してきた。沼倉は転入から十日もしないうちに餓鬼大将としてクラスで勢力を振るうようになるが、乱暴な腕白者ではなく、勉強が出来、宿題も怠けることのない、一風変わった餓鬼大将だったため、貝島は沼倉の性格を推し量れずにいた。ある日の授業中、繰り返し聞こえるひそひそとした無駄話に苛立つ貝島は、声の主が沼倉であることを突き止めた。以下は、それに続く場面である。よく読んで後の設問に答えなさい。

「誰だ先からべちゃべちゃとしゃべって居るのは？ 誰だ？」

と、とうとう彼は我慢がし切れなくなつて、こう云いながら籐の鞭でびしッと机の板を叩いた。

「沼倉！ お前だろう先からしゃべって居たのは？ え？ お前だろう？」

「いいえ、僕ではありません。……」

沼倉は臆する色もなく立ち上つて、こう答えながらずっと自分の周囲を見廻した後、

「先から話をして居たのは此の人です」

と、いきなり自分の左隣に腰かけて居る野田と云う少年を指さした。

「いいや、先生はお前のしゃべって居る所をちゃんと見て居たのです。お前は野田と話をして居たのではない。お前の右に居る鶴崎と二人でしゃべって居たのだ。なぜそう云う嘘をつくのですか」

貝島は例になくムカムカと腹を立てて顔色を変えた。なぜかと云うのに、沼倉が自分の罪をなすりつけようとした野田と云う少年は、平生から温厚な品行の正しい生徒なのである。野田は沼倉に指さされた瞬間、はっと驚いたような眼瞬きをして、憐れみを乞うが如くに相手の眼の色を恐る恐る窺って居たが、やがて何事かを決心したように、真青な顔をして立ち上ると、

「先生沼倉さんではありません。僕が話をして居たのです」

と、声をふるわせて云った。多勢の生徒は嘲けるような眼つきをして一度に野田の方を振り返った。

それが貝島にはいよいよ腹立たしかった。⁽¹⁾野田はめったに教場の中で無駄口をきくような子供ではない。彼は大方、此の頃級中の餓鬼大将として威張って居る沼倉から、不意に無実の罪を着せられて、拗ん所なく身代りに立ったのだらう。若しも罪を背負わなかったら、後で必ず沼倉にい

じめられるのだろう。そうだとすれば沼倉は尚更憎むべき少年である。十分に彼を詰問して、懲らしめた上でなければ、此のまま赦す訳には行かない。

「先生は今、沼倉に尋ねて居るのです。外の者はみんな黙っておいでなさい」

貝島はもう一遍びしりツと鞭をはたいた。

「沼倉、お前はなぜそう云う謔をつくのです。先生はたしかにお前のしゃべって居る所を見たから云うのです。自分が悪いと思ったら、正直に白状して、自分の罪をあやまりさえすれば、先生は決して深く叱言を云うのではありません。それだのにお前は、謔をつくばかりか、却って自分の罪を他人になすり付けようとする。そう云う行いは何よりも一番悪い。そう云う性質を改めないと、お前は大きくなってからロクな人間にはならないぞ」

そう云われても、沼倉はビクともせず、例の沈鬱な瞳を据えて、上眼づかに貝島の顔をAと睨み返して居る。その表情には、多くの不良少年に見るような、意地の悪い、胆の太い、獐猛な相が浮かんで居た。

「なぜお前は黙って居るのか。先生の今云ったことが分らないのか」

貝島は、机の上に開いて置いた修身の読本を伏せて、Bと沼倉の机の前にやって来た。そうして、飽く迄も彼を糺明するらしい氣勢を示しながら、場合に依っては体罰をも加えかねないかのように、両手で籐の鞭をグツと撓わせて見せた。生徒一同は俄かに固唾を呑んで手に汗を握った。何事か大事件の突発する前のような、先とは意味の違った静かさが、急に室内へしーんと行き亘った。

「どうしたのだ沼倉、なぜ黙って居る？ 先生が此れほど云うのに、なぜ強情を張って居る？」

貝島の手は満を引いて居る鞭が、あわや沼倉の頬ッぺたへ飛ばうとする途端に、

「僕は強情を張るのではありません」

と、彼は濃い眉毛を一層曇らせて、低くかすれた、同時にいかにもドキョウの据わったし、ぶとい声で云った。

「話をしたのはほんとうに野田さんなのです。僕は謔を云うのではありません」

「よし！ 此方へ来い！」

貝島は彼の肩先をムズと鷲掴みにして荒々しく引き立てながら、容易ならぬ気色で云った。

「此方へ来て、先生がいいと云うまで其の教壇の下で立って居なさい。お前が自分の罪をコウカイしさえすれば、先生はいつでも赦して上げる。しかし強情を張って居れば日が暮れても赦しはしないぞ」

「先生、……」

と、その時野田が又立ち上がって云った。沼倉は横目を使って、素早く野田に一瞥をくれたようであった。

「ほんとうに沼倉さんではありません。沼倉さんの代りに僕を立てて下さい」

「いや、お前を立てる必要はない。お前には後でゆつくり云って聞かせます」

こう云って貝島は、遮二無二沼倉を引立てようとすると、今度はまた別の生徒が、

「先生」

と云って立ち上った。見るといたずら小僧の西村であった。その少年の顔には、平生の腕白らしい、鼻ったらしのやんちゃらしい表情が跡かたもなく消えて、十一二の子供とは思われないほど真面目くさった、主君の為に身命を投げ出した家来のような、犯し難い勇氣と覚悟とが閃いて居るのであった。

「いや、先生は罪のない者を罰する訳には行きません。沼倉が悪いから沼倉を罰するのです。叱られもしない者が余計なことを云わぬがいい！」

貝島はかゝつとなった。どうして皆が沼倉の罪を庇うのだから分らなかった。それほど沼倉は、常に彼等を迫害したり威嚇したりして居るのだとすれば、ますます以て怪しからん事だと思った。

「さあ！ 早く立たんか早く！ 此方へ来いと云うのになぜ貴様は動かんのだ！」

「先生」

と、又一人立ち上ったものがあつた。

「先生、沼倉さんを立たせるなら僕も一緒に立たして下さい」

こう云ったのは、驚いた事には級長を勤めて居るシウサイの中村であった。

「何ですと？」

貝島は覺えず呆然として、掴んで居る沼倉の肩を放した。

「先生、僕も一緒に立たせて下さい」

つづいて五六人の生徒が **C** と席を離れた。その尾について、次から次へと殆ど全級残らずの生徒が、異口同音に「僕も僕も」と云いながら貝島の左右へ集って来た。彼等の態度には、少しも教師を困らせようとする悪意があるのではないらしく、悉く西村と同じように、自分が犠牲となって沼倉を救おうとする決心が溢れて見えた。

「よし、それなら皆立たせてやる！」

貝島は癪癪と狼狽の余り、もう少しで前後の分別もなく斯う怒号するところであった。若しも彼が年の若い、教師としての経験の浅い男だったら、きつとそうしたに違いないほど、彼は神経を苛立たせた。が、そこはさすがに老練を以て聞えて居るだけに、まさか尋常五年生の子供を相手にムキになるうとはしなかった。それよりも彼は、沼倉と云う一少年が持つて居る不思議な威力に就いて、内心に深い驚愕の情を禁じ得なかったのである。

「沼倉が悪いことをしたから、先生はそれを罰しようとして居るのに、どうしてそんなことを云うのですか。一体お前たちはみんな考が間違つて居るのです」

貝島はさもさも当惑したように斯う云つて、仕方なく沼倉を懲罰するのを止めてしまった。

〈中略〉

全級の生徒を懾服させて手足の如く使うと云うこと、単にそれだけの事は、必ずしも悪い行いではない。沼倉と云う子供にそれだけの徳望があり、威力があつてそうだったのならば、彼を叱責する理由は毛頭もない。ただ貝島が怖れたのは、彼が稀に見る不良少年、——とても一と筋縄では行けないような世にも恐ろしい悪童であつて、そのために級中の善良な分子までが、心ならずも圧迫されて居るのではないだろうか、追い追いと自分の勢力を利用して、悪い行為や風俗を全級に流行させたり教唆したりしないだろうか、——と云う事だった。あれだけの人望と勢力とを以て、級中に悪い風儀をはやらせられたら其こそ大事件であると思った。しかし、貝島は、幸い自分の長男の啓太郎が同じ級の生徒なので、それとなく様子を聞いて見ると、だんだん彼の心配の杞憂に過ぎない事が明かになった。

「沼倉ッて云う子は悪い子供じゃないんだよ、お父さん」

啓太郎は父に尋ねられると、暫くモジモジして、それを云つていいか悪いかと迷いながら、ポツリポツリと答えるのであった。

「そうかね、ほんとうにそうかね、お前の云付け口を聞いたからと云って、何もお父さんは沼倉を叱る訳じゃないんだから、ほんとうの事を言なさい。此の間の修身の時間の事は、あれは一体どうしたんだ。沼倉は自分で悪い事をして置きながら、野田に罪をなすり付けたりしたじゃないか」

すると啓太郎は下のようなペンカイをした。^(エ)——あれは成る程悪い行いには違いない。けれども沼倉は格別人を陥れようと云う深い企みがあつたのではなく、実は自分の部下の者（即ち全体の生徒）が、どれほど自分に心服して居るか、どれ程自分に忠実であるかを試験する為めに、わざとあんな真似をやつたのである。あの日のあの事件の結果として、沼倉は、級中の総べての少年が一人残らず彼の為めに甘んじて犠牲になろうとしたこと、そうしてさすがの先生も手の出しようがなかった事を、十分にたしかめ得たのである。当時彼の指名に應じて、第一に潔く罪を引き受けようとした野田や、野田の次に名乗って出た西村や中村や、此の三人は中でも忠義第一の者として、後に沼倉から其の殊勲を表彰された。——啓太郎の話す意味を補って見ると、大体こう云う事情であるらしかった。

（出題にあたって、本文を一部改変した。）

*注1 籐 ヤシ科のつる性植物。しなやかで丈夫な材料として、家具や器具をつくるのに用いられる。

2 級 クラスのこと。

3 修身 旧制小学校の教科の一つ。天皇への忠誠心の育成を軸に、孝行・柔順・勤勉などの道德教育を行っていた。

4 尋常 尋常小学校の略。尋常小学校は、明治一九年に設置された旧制小学校のこと。

5 風儀 行儀や態度のこと。

問一 傍線部(ア)・(イ)・(ウ)・(エ)のカタカナは漢字でどう書くか。解答例にならない、それぞれ①～⑩の中から、正しい組み合わせとなる漢字を二つ選び、同一解答欄にその番号を両方ともマークしなさい。

(ア) 14

(イ) 15

(ウ) 16

(エ) 17

(解答例) トクテイ

- ① 得
- ② 徳
- ③ 特
- ④ 匿
- ⑤ 督
- ⑥ 帝
- ⑦ 定
- ⑧ 底
- ⑨ 訂
- ⑩ 呈

答 ③ ⑦

(ア) ドキョウ

- ① 渡
- ② 努
- ③ 怒
- ④ 度
- ⑤ 土
- ⑥ 驚
- ⑦ 強
- ⑧ 恐
- ⑨ 胸
- ⑩ 供

(イ) コウカイ

- ① 行
- ② 公
- ③ 後
- ④ 考
- ⑤ 功
- ⑥ 悔
- ⑦ 開
- ⑧ 懷
- ⑨ 快
- ⑩ 改

(ウ) シュウサイ

- ① 秀
- ② 修
- ③ 宗
- ④ 習
- ⑤ 集
- ⑥ 菜
- ⑦ 歳
- ⑧ 最
- ⑨ 採
- ⑩ 才

(エ) ベンカイ

- ① 便
- ② 弁
- ③ 返
- ④ 勉
- ⑤ 遍
- ⑥ 回
- ⑦ 解
- ⑧ 会
- ⑨ 戒
- ⑩ 介

問二 傍線部(a)・(b)の本文中の意味として、最も適切なものを、それぞれ①～⑤の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

(a)
18

(b)
19

(a) 固唾を吞んで

- ① 緊迫した場面を見てはらはらして
- ② 予想外のことに驚きはつとして
- ③ 緊張しながら成り行きを見守って
- ④ これから起こることに期待して
- ⑤ 目の前の状況が理解できずに混乱して

(b) 一と筋縄では行けない

- ① 強情でどのような話も通用しない
- ② 手強い相手で一人ではとてもかなわない
- ③ 一本の縄では行動を抑えきれない
- ④ 普通の方法では容易に対処できない
- ⑤ 短時間ではとても更生させられない

問三 空欄 A・B・C に入る表現の組み合わせとして、最も適切なものを、①～⑤の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

20

- | | | | | | | |
|---|---|------|---|------|---|------|
| ① | A | じろじろ | B | つつか | C | どやどや |
| ② | A | ぎらぎら | B | いらいら | C | わくわく |
| ③ | A | むかむか | B | ずかずか | C | がたがた |
| ④ | A | にやにや | B | のろのろ | C | がやがや |
| ⑤ | A | まじまじ | B | すたすた | C | いそいそ |

問四 傍線部(1)「いよいよ腹立たしかった」とあるが、それはなぜか。最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

21

- ① 沼倉が授業を妨害したことに加え、温厚な野田まで巻き込むことで、さらに自分を困らせようとする悪意を感じたから
- ② 沼倉が自分の罪を認めないだけでなく、よりにもよって、平生から温厚な品行の正しい野田に罪をなすりつけようとしたから
- ③ 沼倉が野田に罪をなすりつけただけでなく、野田が沼倉の味方をして身代わりになり、罪を背負おうとしたから
- ④ 沼倉が野田に罪をなすりつけたことに加え、野田の様子から、沼倉は野田が逆らったらいじめるのだろうと考えたから

問五 傍線部(2)「沼倉と云う一少年が持つて居る不思議な威力」とあるが、貝島はこれをどのようなものと考えているか。最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

22

- ① 教師の自分を圧倒するほどの、意地の悪い獰猛な威圧感
- ② 全級の生徒が、自らを犠牲にして庇おうとするほどの人望
- ③ 全級の生徒が同情し、進んで罪を引き受けようとするほどの徳望
- ④ 全級の生徒と教師を魅了する、小学生とは思えないほどのカリスマ性

問六 この文章の内容として適当でないものを、次の①～⑥の中から二つ選び、同一解答欄にその番号を両方ともマークしなさい。

23

- ① 貝島が、生徒がなぜ沼倉を庇うのか理解できず懲罰をやめたことで、結果として沼倉の思う壺^{つぼ}になった。
- ② 沼倉は、一連の行動を通じて、自分の方が生徒からの人望が厚いことを貝島に見せつけようとした。
- ③ 貝島は、沼倉が希に見る不良少年であり、級中に悪い風儀をはやらせないか心配したが、取り越し苦労だった。
- ④ 沼倉は、謙をつき続けることで、全級の生徒が自分のためにどう行動するか、様子を窺^{うかが}っていた。
- ⑤ 貝島は、謙について強情な態度を貫く沼倉に対し、たとえ正直に罪を認めたとしても、赦す気はなくなっていた。
- ⑥ 貝島は、沼倉のおしゃべりを注意するだけのはずが、思いもよらぬ状況になり、しまいには途方に暮れてしまった。

問七 傍線部(3)「それ」とあるが、啓太郎が話しているか迷った事とはなにか。国語記述用解答用紙に、四十字以上六十字以内(句読点を含む)で記述しなさい。

					5
					10
					15
60					

(この枠は下書き用です。別紙の国語記述解答用紙に記入のこと。)

Ⅲ 以下のそれぞれの設問に答えなさい。

問一 次の(1)・(2)の熟語の対義語を完成するために、解答例にならない、それぞれ①～⑧の中から正しい組み合わせになるように漢字を二つずつ選び、順番は無視して、同一解答欄にその番号を両方ともマークしなさい。

(1)

24

(2)

25

(解答例) 拡大

- | | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| ① 小 | ② 尺 | ③ 縮 | ④ 弱 | ⑤ 減 | ⑥ 贈 | ⑦ 少 | ⑧ 増 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|

答 ① ③

(1) 混沌

- | | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| ① 雑 | ② 想 | ③ 秩 | ④ 狂 | ⑤ 懇 | ⑥ 然 | ⑦ 頓 | ⑧ 序 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|

(2) 需要

- | | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| ① 急 | ② 協 | ③ 給 | ④ 求 | ⑤ 捨 | ⑥ 拒 | ⑦ 供 | ⑧ 断 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|

問二 次の(1)・(2)の熟語の類義語を完成するために、解答例にならない、それぞれ①～⑧の中から正しい組み合わせになるように漢字を二つずつ選び、順番は無視して、同一解答欄にその番号を両方ともマークしなさい。

(1) 26

(2) 27

(解答例) 削除

- ① 消
- ② 廃
- ③ 棄
- ④ 末
- ⑤ 空
- ⑥ 放
- ⑦ 去
- ⑧ 抹

(1) 強情

- ① 偏
- ② 力
- ③ 倒
- ④ 変
- ⑤ 返
- ⑥ 屈
- ⑦ 志
- ⑧ 静

(2) 貢献

- ① 授
- ② 与
- ③ 薦
- ④ 差
- ⑤ 候
- ⑥ 奇
- ⑦ 贈
- ⑧ 寄

答 ① ⑦

問三 次の「状況」を踏まえて、後の文章の空欄 [28] ・ [29] ・ [30] に入る最も適切な言葉を、それぞれ ①～⑤の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

(1) [28]

(2) [29]

(3) [30]

状況…ここはある大学の美術部の部室である。先日学園祭に発表したそれぞれの作品のうち、最優秀賞がこれから顧問の先生によって発表される。そこへ、先生が部室に入ってきた。

学生A…先生が [28] ぞ！

先生…遅くなったね。早速最優秀賞を発表しよう。

学生たち…

先生…最優秀賞はBさんの作品だ。おめでとう、素晴らしい作品だった。

学生B…ありがとうございます。これからも努力を重ねていきたいと [29]。

先生…ところで、この作品のモデルは誰ですか？

学生B…実は私の祖父です。おそらく祖父も、この受賞を大変 [30] ことでしよう。

(1)

[28]

① いられた

② 参られた

③ お召しになった

④ いらっしゃった

⑤ 見られた

(2)

29

① 参じます

② 存じます

③ ご拝察します

④ 思し召します

⑤ 申し受けます

(3)

30

① 喜ばれる

② 喜んでいらつしやる

③ 喜ばせていただく

④ 喜んでくださる

⑤ 喜んでくれる

問四 次の(1)～(3)の空欄に入る最も適切な言葉を、それぞれ①～⑤の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。なお、カッコ内はその言葉の意味である。

(1) 31

(2) 32

(3) 33

(1) 31の利(二者が争っている隙に第三者が横取りすること)

① 巧者

② 漁主

③ 敵手

④ 長者

⑤ 漁夫

(2) 32の一声(多くの反対意見を押さえつける権力者・権威者の一言)

① 天使

② 虎

③ 獅子

④ 鶴

⑤ 仏

(3)

33

楚歌（周囲がみな敵である。助けがなく孤立する状態）

①

四面

②

全面

③

空隙

④

孤高

⑤

背面